

東南村山からおいしさを極める！

おいしい米づくり情報

第8号 出穂期 編

発行：令和3年8月2日

山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト村山地域本部
村山総合支庁農業技術普及課

(TEL:023-621-8295)

高温注意！

出穂は3日早い！

水管理で品質低下を防ごう！

● 出穂期～成熟期までの水管理

- ・ 出穂～開花期は湛水状態（水深 2～5cm）で管理しましょう。出穂前後は稲が最も水を必要とする時期です（花水）。
- ・ 穂揃期以降は、土壌に酸素と水分を供給するため、湛水期間が短い間断かん水（2日湛水＋2～3日落水）や飽水管理を行いましょう。
- ・ 出穂後、高温が続くと、白未熟粒、胴割粒が発生し品質の低下が懸念されます。**冷たい水との入れ替えによるイネ群落内の温度の低下に努めましょう！水の入れっぱなしはダメ！**
- ・ 玄米の肥大が旺盛となる 出穂後 30 日間は土壌水分を維持して整粒歩合を高めましょう。
- ・ 出穂は平年より3日早く、登熟が急激に進むと見込まれます。刈取りの準備を早めに始めましょう。

● 斑点米カメムシ類の防除を徹底！

注意！

注意報第2号が発表されています！

- ・ 斑点米カメムシ類の発生量は多いです。
- ・ 基本防除は穂揃期とその7～10日後です。地域ぐるみで一斉に防除を行い、防除効果を高めましょう。
- ・ 出穂期前後の草刈りは、斑点米カメムシ類の水田侵入を促します。やむを得ず草刈りをする場合は、**薬剤散布前に合わせて実施して下さい。お盆の草刈りはやめましょう！**

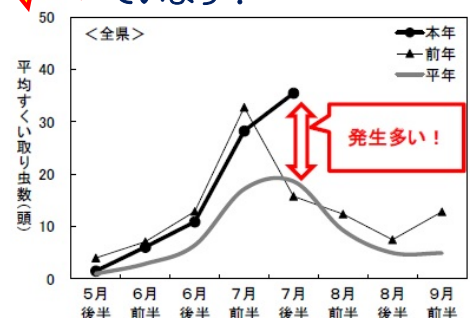


図 畦畔・農道における斑点米カメムシ類の平均すくい取り虫数の推移

「注意報第2号」より